

2025 年 10 月入学・

2026 年 4 月入学

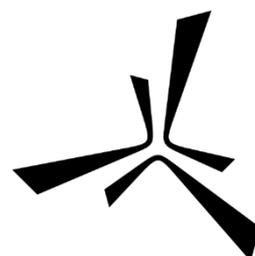
広島市立大学大学院 情報科学研究科博士前期課程 学生募集要項

推薦入試

【本学所定様式】

(以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。)

- [A 票] 入学志願票
- [B 票] 履歴票
- [C 票] 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票
- [D 票] 推薦書
- [E 票] 学修報告書
- [F 票] 研究計画書
- 入学検定料振込依頼書



Hiroshima City University

発行：2025 年 4 月

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

情報科学研究科（博士前期課程）では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、過去の経歴にとらわれず、広く国内外から次のような多様な人物を求めています。

- ・ 情報科学・情報工学の基礎となる高い学力と教養を備え、高度な専門性と学際的な視野を持って地域や国際社会に貢献する意欲がある人
- ・ 問題解決に必要な論理的思考力、探求心、挑戦し続ける忍耐力および向上心がある人
- ・ 他人の考えを理解しながら、自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション能力がある人
- ・ 技術者・研究者としての良識や倫理観を持つ人

2 推薦入試で特に求める人物像

推薦入試では、情報科学研究科（博士前期課程）のアドミッション・ポリシーに加えて、特に次のような人を求めています。

- ・ 情報科学・情報工学の基礎となる高い学力・教養を有し、専門性・学際性を高め、地域や国際社会への貢献に強い意欲を持つ人

3 専攻の概要

本研究科は情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、医用情報科学専攻の4専攻からなり、次のような能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身につけた人材を養成します。

- ・ コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータとネットワークを創成する能力
- ・ 知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し、それをシステム化する能力
- ・ 人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力
- ・ 様々な分野間の研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力
- ・ 自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力

受講科目は、「情報工学専攻」ではコンピュータハードウェア分野、コンピュータシステム分野、コンピュータネットワーク分野、コミュニケーション基盤分野、「知能工学専攻」では知能ソフトウェア分野、知能メディア分野、知能サイエンス分野、「システム工学専攻」では人間・ロボット共生分野、インターフェースデザイン分野、「医用情報科学専攻」では情報科学及び医用生体工学に関連する学際融合分野において、科学技術の高度化と多様化に対応できるよう基礎から応用までの学識、技術の体系を修得できるように開設しています。

4 授与する学位の種類

博士前期課程では、受講科目及び修士研究の内容により、「修士（情報科学）」又は「修士（情報工学）」のいずれかになります。

5 修業年限

博士前期課程の修業年限は2年間とします。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上の在学をもって修了を認めることがあります。

6 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員（推薦入試）	
			10月入学	4月入学
情報科学研究科	情報工学専攻	23名	若干名	10名
	知能工学専攻	23名	若干名	10名
	システム工学専攻	23名	若干名	10名
	医用情報科学専攻	15名	若干名	7名

7 出願資格・事前審査

(1) 出願資格

次の①～⑫のいずれかに該当する者（①～⑧、⑫については、「2025年10月入学」入学試験に出願する者は2025年9月30日までに、「2026年4月入学」入学試験に出願する者は2026年3月31日までに該当する見込みの者を含む）かつ⑩に該当する者

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条の大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者〔※1〕
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けた者において課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号による。）
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、「2025年10月入学」入学試験に出願する者は2025年9月30日までに、「2026年4月入学」入学試験に出願する者は2026年3月31日までに22歳に達しているもの
- ⑪ 学校教育法第83条の大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本学大学院が定める単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの〔※2〕
- ⑫ 2023年7月1日以降に実施された本学の指定する英語外部検定試験のスコアを証明する書類を出願時に提出でき、かつ、そのスコアが本学の指定する基準値以上である者（詳細については、7ページ「(5)出願書類等 ⑫英語外部検定試験のスコア証明書」で確認してください。）

〔※1〕本学では、中華人民共和国の「高等教育自学考试」は学校教育における16年の課程に含めません。出願資格⑩により、必ず4ページ「(2)事前審査」の手続に従って所定の期日までに申請してください。

〔※2〕出願資格⑪により出願を希望する者は、次のア～エの要件をすべて満たす必要があります。要件を確認のうえ、必ず4ページ「(2)事前審査」の手続に従って所定の期日までに申請してください。

ア 2年次までに、共通教育科目（教養科目）の卒業要件単位を修得していること。

イ 2年次までに開講された学部教育科目（専門科目）の必修科目の単位を修得していること。

ウ 3年次までに修得見込みの単位数が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること。

エ 広島市立大学情報科学部イノベーション人材育成プログラムに参加し、プログラム指定科目について優秀な成績を収めていること、又は在籍大学で2年次までに修得した卒業要件単位の8割以上が、100点満点評価における80以上に相当する評価であること。

(注1) 入学試験に合格した場合であっても、入学の許可を受けるためには、次の㉞と㉟の要件を満たし、かつこれを証明するための成績証明書(出身大学(学部)長等が作成したもの)等の提出が必要になります。提出期限については、入学手続の際にお知らせします。

ただし、早期卒業制度により大学の卒業証明書を提出できる場合はこの限りではありません(本学情報科学部在籍者は卒業証明書の提出は不要)。

㉞ 3年次までに修得した単位数が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること。

㉟ 広島市立大学情報科学部イノベーション人材育成プログラムを大学入学後(休学期間を除く)3年間で修了していること、又は在籍大学で3年次までに修得した卒業要件単位の8割以上が、100点満点評価における80以上に相当する評価であること。

(注2) 入学試験に合格した場合は、所属大学を3年次修了時点で退学し、大学院へ進学することになり、所属大学から学士の学位は与えられません。そのため、各種国家試験等の受験資格が得られないことがあります。

ただし、一定の要件を満たした場合、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査を受け合格することにより、学士の学位を取得することが可能です。詳細は、同機構のウェブサイト(<https://www.niad.ac.jp/>)をご確認ください。

(2) 事前審査

3ページ「(1)出願資格」㉑～㉓の資格により出願を希望する者は、出願資格認定のため事前審査を行いますので、必ず本学アドミッションセンターへ申し出た上で、以下の必要書類を提出してください。

郵送する場合は、**書留速達郵便**とし、封筒表面に「**情報科学研究科事前審査申請書類在中**」と赤字で記載した上で提出期限までに郵送してください。提出先は、5ページ「**9 出願手続**」の「**(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先**」を参照してください。持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。土、日、祝日は受付を行いません。

事前審査の結果は、2025年5月23日(金)までに本人宛に郵送により通知します。

【**必要書類**】 事前審査申請書(本学所定の様式)、出身大学等の指導教員又はこれに準ずる者の推薦書(本学所定の様式)、成績証明書、出身大学等の履修基準・授業科目表等、返信用封筒(長形3号、23.5cm×12cm)に申請者の住所・氏名・郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付したもの)

※ 出願資格㉑㉓は提出する書類が異なりますので、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

※ 本学所定の様式は申し出により交付します。

【**提出期限**】 **2025年5月9日(金)午後5時必着**(2025年10月入学、2026年4月入学共通)

8 推薦要件

次の各号を満たす者

- (1) 学業成績、人物共に優れ、志望する研究科、専攻に対して熱意と適性を有する者
- (2) 所属大学もしくは出身大学又は高等専門学校専攻科の教員が責任をもって推薦できる者
ただし、推薦書を得がたい場合は、自己推薦も認める。
- (3) 合格した場合には入学することを確約できる者

9 出願手続

(1) 事前相談

出願前に、**指導希望教員（第1希望、第2希望の両方）と研究内容等の相談を行ってください。**その相談結果を踏まえて、「(5)出願書類等」の⑧研究計画書を作成してください。指導希望教員は、13～16ページの「講座、研究テーマ及び教員」を参考にしてください。第1希望の指導希望教員との相談を通じて、第2希望の指導希望教員を紹介してもらうことも可能です。

指導希望教員の連絡先が分からない場合は、下記期限までに次の事項を本学アドミッションセンター (nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp) 宛にE-mail で送ってください。

件 名：事前相談について（情報科学研究科推薦入試）

本 文：志願者氏名，指導希望教員名（第2希望まで可）

添付書類：「(5)出願書類等」にある②履歴票，⑦学修報告書，⑧研究計画書（⑦及び⑧については作成途中のものでも可）

〔事前相談受付期限〕 2025年5月9日（金）

※ 期限を待たずに早めにお問い合わせください。

※ 期限後に事前相談を希望される場合は、アドミッションセンターへご相談ください。

(2) 出願期間

2025年5月26日（月）から5月30日（金）午後5時まで（必着）

郵送による出願書類の提出については、**出願期限前日の5月29日（木）までの消印がある書留速達**に限り、期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

(3) 出願方法

出願書類等を一括して角形2号の封筒に入れ、郵送又は持参の方法により、出願期間内に本学アドミッションセンターに提出してください。郵送の場合は**書留速達郵便**とし、封筒表面には「**大学院入学試験出願書類在中**」と赤字で記載してください。

なお、持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

海外から送付する場合は、封筒には「**大学院入学試験出願書類在中**」と赤字で記載し、Express Mail Service (EMS) や DHL 等の追跡サービスのある方法で送付されることを推奨します。

(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学アドミッションセンター

電話 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

(5) 出願書類等

出願に必要な書類等		作成方法等	
①	入学志願票	[A票]	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。 記入にあたっては、欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。
②	履歴票	[B票]	
③	受験票	[C票]	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。
④	写真票		本学所定の様式に必要な事項を記入してください。上半身、無帽、正面向き、背景なしの出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真の裏面に氏名、生年月日を記入し、のり付けしてください。 ※ 提出された写真は、入学後の学生証及び本学の教務システムで博士前期課程修了まで使用します。

出願に必要な書類等		作成方法等
⑤	入学検定料 振込証明書 貼付票	<p>[C票]</p> <p>入学検定料 30,000 円を、本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。ATM(現金自動預払機)は使用できません。振込後、「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの)を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。</p> <p>なお、ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は振込方法が異なりますので、ゆうちょ銀行等窓口にお問い合わせください。</p> <p>【海外に居住する志願者】 ※ 海外に居住する志願者は、入金方法が異なります。詳細は出願前に「(4)出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」に E-mail で問い合わせてください。この場合、入学検定料についての提出書類はありません。</p> <p>【支払手続問い合わせ期限】2025年5月14日(水)(日本時間)</p>
⑥	推薦書	<p>[D票]</p> <p>本学所定の様式により、所属大学もしくは出身大学又は高等専門学校専攻科等の教員が作成し、厳封されたものを提出してください。</p> <p>推薦書を得がたい場合は、自己推薦とし、この様式に自己をアピールする文章を記入してください(推薦者欄及び成績順位欄は記入不要)。</p>
⑦	学修報告書	<p>[E票]</p> <p>本学所定の様式に、これまでの学修の状況について、以下の内容を踏まえて記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報科学・情報工学に関する科目や分野、又は研究成果について、これまでの学修で修得した自信のあるものと、その根拠となる具体例や成果 2 工夫して取り組んだことや苦勞して身に付けたこと(苦手科目の克服など。学業に限定しない。) <p>作成方法については、この表の欄外に示す【注意事項】のとおりです。</p>
⑧	研究計画書	<p>[F票]</p> <p>本学所定の様式に、入学後に取り組みたい研究課題について、以下の内容を踏まえて具体的に記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「学修報告書」で記入したこれまでの成果や実績を、入学後にどのように継続、発展させたいか 2 上記1のために、情報科学・情報工学でどのような受講内容を学びたいか、どのような知識・技能を修得したいか 3 「上記1・2を実現する過程で、自身が持つ課題をどのようなアプローチで解決したいか」を指導希望教員との事前相談の結果を踏まえて、第1希望、第2希望の指導希望教員の専門性や研究内容と関連付けて説明すること <p>作成方法については、この表の欄外に示す【注意事項】のとおりです。</p>
⑨	成績証明書	<p>在籍又は出身大学(学部)長等が作成した原本(コピー不可)を提出してください。</p>
⑩	卒業証明書	<p>出身大学(学部)長等が作成した原本(コピー不可)を提出してください。</p> <p>なお、大学、高等専門学校等を卒業見込みの場合は、卒業見込証明書等は提出不要です。ただし、合格した場合、卒業証明書の提出が必要になります(本学情報科学部在籍者は不要)。提出期限については、入学手続の際にお知らせします。</p>
	<p>【中国の高等教育機関を卒業した者は以下の2点を提出してください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書 ・中国高等教育学生信息网(https://www.chsi.com.cn/xlcx/)で卒業証書の認証を行い、認証画面を印刷したもの(教育部學歷證書電子注冊備案表) 	
⑪	学位授与申請見込証明書又は学位授与証明書 【出願資格(1)②により出願する者のみ】	<ul style="list-style-type: none"> ・学位取得見込者：学士の学位授与申請見込証明書(出身高等専門学校長が発行したもの) ・学位取得者：学士の学位授与証明書(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)

出願に必要な書類等		作成方法等
⑫	英語外部検定試験のスコア証明書	<p>2023年7月1日以降に実施された以下の①～④のうちいずれかの英語外部検定試験で、そのスコアが以下の【 】内に示す基準値以上のスコアを証明する書類（点数及び受験者氏名が記載されたもの）の原本とそのコピー1枚を提出してください。複数提出可です。 原本は、受験票に同封して返却します。</p> <p>① TOEIC®L&R テスト【400点以上】 ② TOEIC®L&R IP テスト【400点以上】 ③ TOEFL®iBT【40点以上】 ④ IELTS【3.5以上】</p> <p>ただし、①、②のTOEIC®L&Rのスコア証明書を提出する場合は、以下のとおり提出してください。 【マークシート方式】 TOEIC デジタル公式認定証を印刷したもの1枚、又は公式認定証（紙）の原本とそのコピー1枚 【オンライン方式】 スコア表示画面を印刷したもの1枚 ※ オンライン方式を受験しスコアを提出する場合、監督者付きのスコアのみ認めます。監督者付きのスコアとは、オンライン試験中に試験監督者によるカメラ映像に基づく本人確認かつ監視を受けた試験によるスコアを意味します。</p>
⑬	研究倫理に関する学修記録（任意提出）	研究倫理に関する学修記録の写しを提出することができます（日本学術振興会「eL CoRE」、公正研究推進協会「eAPRIN」の修了証など）。複数ある場合は最新の1件を提出してください。
⑭	その他の資格・検定の取得又は合格証明書（任意提出）	情報科学・情報工学に係る資格・検定の取得又は合格を証明する書類の写しを提出することができます（例：基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験など）。最大3件まで提出可能です。
⑮	返信用封筒	受験票送付用の定形封筒（長形3号、23.5 cm×12 cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、 110円分の切手を貼付 してください。 海外に居住する志願者は不要です。

【注意事項】

- ①～⑥（[A票]～[D票]）の様式及び入学検定料振込依頼書は、本学ウェブサイトから所定のPDFファイルをダウンロードし、印刷して使用してください。様式及び入学検定料振込依頼書の印刷ができない場合は、本学アドミッションセンターに請求してください。
- ⑦、⑧（[E票]、[F票]）の様式は、本学ウェブサイトから所定のWordファイルをダウンロードし、下記の点に留意して作成をしてください。
ア 様式の表面に記入してください。スペースが足りない場合は1ページ追加できます（全面に記載可能）。その場合は、両面印刷でA4サイズ1枚にして提出してください。
イ 使用言語は日本語又は英語とし、11ポイント程度の大きさの文字を使用してください。
ウ 余白の設定を変更しないでください。
エ 図や表を挿入しても構いません。
- 出願書類のうち、日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書等には、日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。
- 出願書類の作成・提出に当たっては、自らの責任において、十分に考えたものを提出してください。

(6) 出願上の注意

- ① 必要な書類がすべてそろっていない場合には受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号、E-mail アドレスに変更があった場合には、本学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ **一度受理した出願書類及び入学検定料は、返還しません。**
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

(7) 受験番号の通知

出願締切後、入学志願票に記載の住所又は E-mail アドレス宛に受験番号を通知します。2025 年 6 月 20 日（金）までに通知が届かない場合は、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

(8) 入学検定料の返還

既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〔返還請求の方法〕

①又は②に該当した場合は、出願先に連絡してください。「検定料返還申請書」を E-mail で送付しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

③の場合は、出願書類等の返却の際に「検定料返還申請書」を同封しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

〔申請期限〕 2025 年 8 月 29 日（金）午後 5 時必着

(9) 入学検定料の免除

「広島市内の者」で、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は、これを免除します。事前に本学アドミッションセンターに相談し、期限までに申請してください。

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 入学の日の属する月の初日において継続して 1 年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 入学の日の属する月の初日において配偶者又は 1 親等の親族が継続して 1 年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

〔申請期限〕 2025 年 5 月 1 日（木）午後 5 時必着（2025 年 10 月入学，2026 年 4 月入学共通）

10 2023 年 4 月以降に災害救助法の適用を受けた災害で被災した志願者への特例措置

上記の災害で被災した志願者については、出願後の申請により入学検定料を返還します（出願時には入学検定料の振込が必要です）。また、合格者については、申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書及び事実を証する書類を要します。詳細については、本学ウェブサイトをご覧ください。

11 受験上及び修学上の配慮を希望する場合

障害のある等の理由で受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、2025年5月1日（木）までに本学アドミッションセンターにお申し出ください。申請書の様式をお送りしますので、2025年5月14日（水）までに申請書等を本学アドミッションセンターに提出してください。

（申請書の記載内容）

- ① 志願者の氏名、性別、住所、連絡先電話番号
 - ② 入試区分、志望専攻等
 - ③ 障害等の種類・程度（医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付してください。）
 - ④ 受験上の配慮を希望する事項
 - ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
 - ⑥ 出身学校での授業等における配慮事項
 - ⑦ 日常生活の状況
- ※ 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する必要がある場合は、速やかに本学アドミッションセンターにお申し出の上、申請してください。申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできなかったりする場合には、希望する配慮が行えないこともあります。
- ※ 申請書に記載された個人情報、受験上及び修学上の配慮内容を検討するために利用します。なお、合格決定に利用することはありません。

12 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他）は、入学者選抜、合格通知、入学手続及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行うために利用します。

また、入学者についての同情報は、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、授業料免除申請等）の業務を行うために利用します。

上記業務の一部は、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じたうえで、外部の業者に委託する場合があります。

13 受験環境の準備

Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行いますので、受験者は以下の事前準備をしてください。

- ① 第三者が入室しない明るく静かな個室（ゼミ室や自宅、レンタルスペース等）
- ② 動画を送受信できる安定したインターネット環境
- ③ インターネットに接続が可能なパソコンなど（ウェブカメラ、マイク、スピーカーなどが利用可能で、プレゼンテーションができること）
- ④ ③の予備
- ⑤ 事前に、Zoom アプリを当日使用する機器にインストールし、接続テストを行うこと（予備の機器含む）

- ・ Zoom アプリインストール (<https://www.zoom.us/download>) ※無料版可。アカウントの作成不要。
- ・ Zoom ミーティングのテスト (<https://zoom.us/test>)
- ・ Zoom ヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>)

①又は②が準備できないため、本学に来学して特別受験室での受験を希望する場合は以下のとおり E-mail で本学アドミッションセンターへ申請してください。

【申請事項】

件 名：情報科学研究科推薦入試（広島市立大学での受験を希望）

- 内 容：① 氏名
- ② 志望専攻
- ③ 当日の機器の持ち込みについて
（例：パソコン、スマートフォン、タブレットなど）
- ④ 特別受験室で受験を希望する理由
（例：インターネット環境が安定しないため。）

※ 特別受験室で受験の場合もオンライン方式での受験となります。

※ 申請締切後はいかなる理由があっても受け付けませんので受験者自身で受験環境を整えてください。
また、申請者数によっては対応できない場合もありますのでご了承ください。

【申請期限】 2025年5月30日（金）

14 入学者選抜方法

(1) 試験期日

日程	専攻	試験科目	時間	実施方法
2025年7月5日(土)	全専攻	面接	13:00～	Web会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行います。当日の詳細については受験番号通知時にお知らせします。

(2) 試験内容

試験科目の内容及び評価の観点は次のとおりです。

試験科目	内容及び評価の観点	配点
面接	【内容】 学修報告書、研究計画書の内容に沿って、15分程度の個人面接を実施します。出願した専攻に関連する学部レベルの専門知識を問う質疑応答を含みます。その他の出願書類（任意提出含む）は、面接の参考資料とします。 【評価の観点】 出願書類を参考にしながら、基礎的な学力・教養を確認するとともに、学修・研究に対する意欲、探究心、忍耐力及び向上心を評価します。さらに、コミュニケーション能力に加え、研究者倫理のほか、学際性や社会貢献に対する意識も確認します。	200点

(3) 出願書類

出願時に提出された学修報告書及び研究計画書は点数化し評価の対象とします。評価の観点は次のとおりです。

出願書類	評価の観点	配点
学修報告書	これまでの学修の成果が入学後の学修研究活動にどのように繋がるかを踏まえながら、主として、学力・教養、忍耐力・向上心を評価します。	100点
研究計画書	「学修報告書」で示された修得内容を踏まえながら、主として、専門的・学際的な視野、論理的思考力・探究心、表現力・コミュニケーション能力を評価します。	

(4) 合否判定

面接及び出願書類の結果を総合して合格者を決定します。

(5) 面接試験の注意事項

- ① 受験者は、試験開始30分前までに受験番号通知の際にお知らせした受験者控室（Zoomミーティング）に入室してください。
- ② 面接開始時刻に受験者控室（Zoomミーティング）に不在であった場合は、欠席したものと取り扱います。
- ③ 当日は、本学の受験票を必ずお手元に携帯してください。
- ④ 不正防止の観点から、面接開始前又は面接中に、周りの様子をカメラに映していただくことがあります。プライバシーに関わるものが映らないようご注意ください。スマートフォンを使用する場合は、面接に関係ない電話の着信やE-mail、通知の受信等で面接が中断されることのような設定等に十分注意してください。
- ⑤ 面接の途中で退席することはできません。退席した場合は失格となります。
- ⑥ 試験当日にインターネットに接続ができない等のトラブルによって、Zoomミーティングに参加できない場合は受験できないことがあります。
- ⑦ オンライン面接の受験に係る費用（通信料等）は受験者負担となります。
- ⑧ その他受験者への連絡等が必要になった場合は、受験番号通知の際にお知らせします。また、緊急で受験者に連絡する事項がある場合は、本学のウェブサイトに掲載します。

15 不正行為について

- ① なりすまし受験やカンニング行為（出題範囲に関する参考書やメモ等を持ち込むこと、Webブラウザ（Google Chrome, Firefox等）やSNS（X, LINE等）で出題範囲や試験に関する内容を閲覧することを含む）及び他の受験者への協力行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、Web会議システム使用中の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効にすることがあります。また、入学後であっても、入学を取り消すことがあります。なお、その場合、出願書類、入学検定料及び入学料は返還しません。
- ② 視線が頻繁に動く場合は、カンニング行為等の不正行為をしていないか確認することがあります。

16 合格者発表

2025年7月16日（水）正午

合格者に合格通知書を送付します。

また、本学ウェブサイトでも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、E-mail、郵便等による問い合わせには応じません。

17 入学手続

(1) 入学手続期間

「2025年10月入学」合格者：2025年9月4日（木）から9月11日（木）午後5時まで（必着）

「2026年4月入学」合格者：2026年3月2日（月）から3月15日（日）午後5時まで（必着）

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類は、「2025年10月入学」合格者には合格通知書発送時に、「2026年4月入学」合格者には2026年2月下旬に送付します。
- ② 入学手続書類は必ず**書留速達郵便**とし、封筒表面に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ、**入学手続期間内に必着**するよう郵送してください。
- ③ 入学手続期間最終日のみ持参による提出を受け付けます。受付場所は本学アドミッションセンターです。受付時間は、午前9時から午後5時までです。
- ④ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後、入学許可書を送付します。

(3) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を行わなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受理できませんので、書類の提出の際には、十分確認してください。
- ③ 一度受理した入学手続書類及び納付された入学料は返還しません。
- ④ 卒業（修了）見込みで出願して合格した者は、卒業後、速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。入学日前日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学を取り消します。

18 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

区 分	金 額	
入 学 料	広島市内の者(注)	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 入学の日の属する月の初日において継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 入学の日の属する月の初日において配偶者又は1親等の親族が継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

(2) 入学する月の前月末までに納付するもの

区 分	金 額
後援会費(注)	20,000 円

(注) 後援会費には、学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。詳細は入学手続き時に案内します。

(3) 入学後に納付するもの

区 分	金 額	納付時期
授業料（年額 535,800 円）(注)	267,900 円	4 月末まで
	267,900 円	10 月末まで

(注) 授業料は、2025 年 4 月現在の金額です。改定を行った場合には、改定時から新授業料を適用します。

(4) 入学料・授業料の減免等

① 入学料の減免

次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続きまでにご相談ください。

ア 入学前 1 年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合

イ 入学前 1 年以内に、入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ 入学する者が「広島市内の者」であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

② 授業料の減免又は徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳細は、本学ウェブサイトでご確認ください。

(5) 「ひろしま DX 人材育成奨学金」について

合格者は、広島県の事業である「ひろしま DX 人材育成奨学金」に応募することができます。本奨学金は大学を通してのみ応募可能です。

過去の募集については本学ウェブサイト (<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/content0004>) に掲載していますので参考にしてください。

【ひろしま DX 人材育成奨学金の概要】

貸付金額：月額 5 万円（無利子）

貸付期間：修学生に適用される修業年限内。ただし、6 年間を上限。

返還免除の要件：修了後、9 年間のうち 8 年間、県内企業等に就業し DX 推進に資する業務に従事した場合は、貸付金の返還を全額免除します。県内企業等への就業期間が 8 年未満の場合は、期間に応じて返還を一部免除する場合があります。

奨学金の詳細につきましては、広島県のホームページご確認ください。

広島県のホームページ：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/dxchallenge-koubo.html>

ご不明点等ございましたら広島県商工労働局産業人材課人材育成グループ（TEL：082-513-3420

E-mail：syojinzai@pref.hiroshima.lg.jp）へお問い合わせください。

講座，研究テーマ及び教員

専攻	講座	研究テーマ	教員
情報工学専攻	コンピューティング	ストカスティックコンピューティング	教授 市原 英行
		ディペンダブルコンピューティング	教授 井上 智生
		論理設計とスイッチング回路理論	教授 永山 忍
		リコンフィギャラブルシステムの設計と応用	教授 弘中 哲夫
		プログラミング言語処理系とソフトウェア開発環境	准教授 川端 英之
		量子コンピューティングの理論と応用	准教授 LUKAC Martin
		レイアウト設計と回路マッピング	講師 稲木 雅人
		リコンフィギャラブルコンピューティング	講師 谷川 一哉
	コミュニケーション	情報ネットワークの基盤技術とそのシステムの高度化・高信頼化	教授 石田 賢治*
		大規模複雑ネットワークの分析と制御	教授 高野 知佐
		無線ネットワーク制御の設計・高度化	教授 小畑 博靖
		暗号アルゴリズム設計およびセキュリティシステム構築	准教授 稲村 勝樹
		安全な分散コンピューティング	准教授 上土井陽子
	センシング	ネットワークソフトウェアの設計と評価	教授 大田 知行
		ワイヤレスネットワークと電波センシングシステム	教授 西 正博
		高信頼な無線通信方式と電波測位方式	准教授 高橋 賢
		3D原子イメージング科学の先端センサ材料創成への応用	准教授 八方 直久
		効率的な情報交換のためのネットワークアプリケーション技術	准教授 舟阪 淳一
		ワイヤレス通信に関わる電波伝搬および電磁環境の評価	講師 新 浩一
		無線ネットワークと電波応用システム	講師 小林 真
		気体イオン検出におけるイオン光学シミュレーション	講師 藤原 真

専攻	講座	研究テーマ	教員
知能工学専攻	データ科学	グラフ構造データに対する機械学習法とデータマイニングへの応用	教授 内田 智之
		正標数の代数的閉体において定義された代数多様体	教授 齋藤 夏雄
		非構造化データからの知識発見とその工学的応用	教授 田村 慶一
		多次元データベースとその応用	准教授 黒木 進
		数理システムと空間配置の幾何学	准教授 関根 光弘**
		知識発見における機械学習手法とグラフ理論の応用	准教授 宮原 哲浩*
		多変量統計解析と漸近理論	講師 佐藤 倫治
		機械学習を用いたグラフ構造化データからの知識発見とその応用	講師 鈴木 祐介
	人間情報学	進化計算に基づくプログラムの自動生成や感性情報の最適化	教授 原 章
		VR/ARを用いた学習支援システムおよび感性工学の研究	教授 松原 行宏
		知的検索インターフェースと実社会データへの応用	准教授 梶山 朋子
		計算知能システムに関するモデリングと実データへの応用	准教授 鎌田 真
		VRとfMRIを用いた感情および社会性に関する研究	准教授 河田 人美
		生物集団行動の数理モデリングと群知能システムへの応用研究	准教授 白石 允梓
		学習分析・教育データマイニングにおける教育・学習支援	准教授 毛利 考佑
		AR/VRを用いた学習支援手法およびシステム実装に関する研究	講師 岡本 勝
	知能情報学	音声言語情報処理と自然言語処理	教授 竹澤 寿幸**
		情報理論と情報統計力学	教授 三村 和史
		学習機械の確率的特性解析	准教授 岩田 一貴
		数理モデルによるヒト行動モデリングおよびデータサイエンス	准教授 下川 文明
		物理現象の解析にもとづくコンピュータビジョン技術	准教授 宮崎 大輔
感情情報処理とマルチモーダルインタラクションシステム		准教授 目良 和也	

専攻	講座	研究テーマ	教員
システム工学専攻	数理システムデザイン	確率過程を基礎とした最適制御理論	教授 田中 輝雄
		組込みシステムの形式的検証および設計最適化	教授 中田 明夫
		関数近似と変数変換の開発・改善とその応用	准教授 岡山 友昭
		量子情報における数理構造とその応用	准教授 桑田 精一
		深層学習によるDDoS攻撃対策や軽量認証等の情報セキュリティ	准教授 双紙 正和
		代数多様体の分類理論, 特異点理論	准教授 廣門 正行
		テラヘルツ波領域のナノ量子デバイスシステムの数値設計, 電磁波の位相差を利用した空間対称量子システムのパリティ分離検出	准教授 福島 勝*
		進化アルゴリズムと組合せ最適化	准教授 村田 佳洋
	人間・ロボット共生	救急車の自動運転と傷病者搬送支援に関する研究	教授 小野 貴彦
		インテリジェント制御システムの設計	教授 小寄 貴弘
		人間-ロボット間の相互作用, 人間と協調する自動運転	教授 池田 徹志
		バーチャルリアリティおよび複合現実型実応用	准教授 脇田 航
	インタフェースデザイン	サウンドデザインとその評価, 適応音響制御, 心理音響	教授 石光 俊介
		フィジカルAI, ロボットビジョン, 車椅子ロボット	教授 李 仕剛
		マルチエージェントシステムとその応用に関する研究	准教授 神尾 武司
		分散システムのためのソフトウェア技術	准教授 島 和之
		音響認識システム, 非定常音を対象としたブラインド音源分離	准教授 中山 仁史
		心理情報科学, マルチモーダルなコンテンツ分析	講師 カストナー・マーク・アウレル

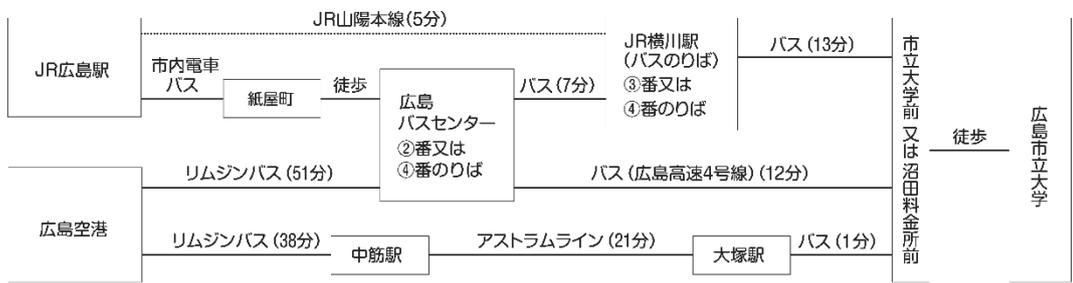
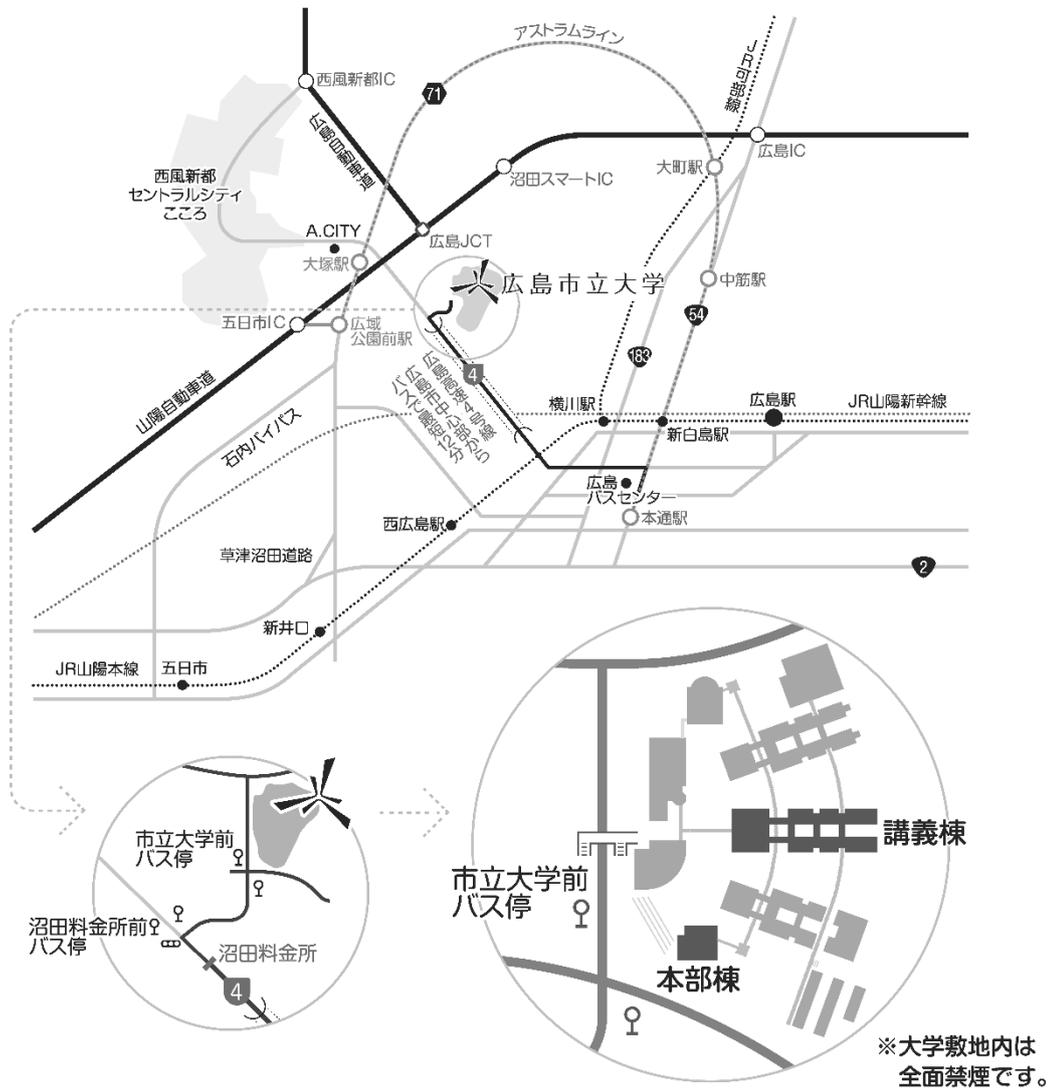
専攻	講座	研究テーマ	教員
医用情報科学専攻	医用情報科学	計算機実験による生命現象の物理化学的原理の解明と応用	教授 鷹野 優
		定量的画像バイオマーカーの標準化と画像評価手法	教授 松本 圭一
		MEMS 技術を用いたマイクロ医用デバイスシステムの開発	教授 式田 光宏
		高精度で脳機能ダイナミクスを読み取る非侵襲ブレインマシンインタフェース	教授 樋脇 治
		情報通信技術の医療・ヘルスケアアプリケーションへの応用	教授 田中 宏和
		視覚情報処理機構の解明とその情報工学への応用	准教授 中野 靖久*
		病気の診断に用いるバイオセンサーの開発	准教授 釘宮 章光
		計算機を用いた生体触媒の活性と構造の相関の解明	准教授 齋藤 徹
		発光ダイオード (LED) の生物, 化学, 農業への応用に関する研究	准教授 香田 次郎
		光学顕微鏡による画像計測・解析, バイオメディカルデータ (遺伝子情報を含む) の可視化・解析	准教授 藤原 久志
		マイクロマシニング技術によるセンサ開発とその医療応用	准教授 長谷川義大
		ヒトの認知・運動機能の計測・解析に関する研究開発	准教授 福田 浩士
		生体信号の計測・解析による脳機能解明	准教授 常盤 達司
		ウェアラブルセンサシステムと生体信号処理	講師 伊藤 孝弘
		MEMS・集積マイクロシステムとその医用応用	講師 AL FARISI Muhammad Salman

注1：担当教員および講座，研究テーマは2025年4月1日のものです。

注2：*の教員は2026年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

注3：**の教員は2027年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

広島市立大学案内図



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すく、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。

広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南中央」方面行きのバスには、「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。